

# 希望の花

第30号(平成26年9月20日)

兵庫県立視覚特別支援学校 発行

〒655-0884 神戸市垂水区城が山4-2-1

TEL 078-751-3291

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kenritsu-svn/>



## 水泳部が大活躍しました！

7月25日(金)、京都府立盲学校で近畿盲学校水泳競技大会が行われました。

個人戦では、中学部の村沢綾乃さんが、中学部女子25mバタフライで22秒1の大会新記録を出し、優勝しました。ほとんどの生徒が個人の部で優勝・入賞し、惜しくも入賞できなかった生徒も自己ベストを更新しました。また、リレーでは、中学部男子100m自由形リレー、高等部女子100m自由形リレー、高等部女子100mメドレーリレーで優勝しました。そして、合わせて26枚の賞状を獲得しました。

保護者の皆様、朝早くの出発に合わせて準備をしていただき、また、たくさんの声援ありがとうございました。

なお、近畿盲学校水泳競技大会の様子は、本校ブログにも詳しく掲載しておりますので、ぜひご覧ください！



## 各校務部から 前期の活動報告をします！

### 総務部

広報活動充実のために、HPでは生徒の活動を速報的に伝えたり、必要な情報を地域や保護者に向けて掲載したりしています。学校新聞「希望の花」は、発行回数を増やしてタイムリーで読みやすいものにしています。ICT機器を活用した教育推進のために、学校内外の教職員や生徒に対してiPad等の活用スキル向上研修会を企画運営しています。PTA行事では、連携協力して企画運営をしています。

### 教務部

今年度から新たな教育課程がスタートしました。BCコースの合わせた指導の学習内容の充実、またAコースの授業充実に向け、それぞれ研究会を発足しました。幼児児童生徒個々の実態に応じた授業が展開できるよう、研究に取り組んでいます。中・高等部では、夏季休業中に補習授業を行い、生徒の学力向上のための取り組みを行っています。

### 生徒指導部

部紹介や体験入部を実施して、部活動の活発化を図っています。交流を通して社会で生きる力を高めるため、滝の茶屋保育園、東垂水小学校、二見中学校、舞子高等学校、神戸甲北高等学校との交流及び共同学習を行っています。今後は人権研修会や避難訓練に地域の方々に来て頂き、ともに学ぶ機会にしたいと思っています。また、児童会、生徒会によるあいさつ運動を企画し、社会的マナーの育成を計画しています。

### 進路指導部

5月に「進路の手引き」を発行し、保護者の皆様全員に配布させていただきました。生徒の進路ホームルーム等でも活用しています。キャリア教育の重点テーマを「TPOに応じた挨拶」に決め、学部独自のテーマとともに取り組んでいます。10月には高等部普通科の作業学習を外部の助言者に見てもらい助言をいただきます。本校は、県内特別支援学校や近畿盲学校の進路指導研究会の役員として、諸学校の進路指導を推進しています。

## 支援部

兵庫県下全域の相談支援の活動を行っています。昨年度の相談は800件を超えましたが、今年度はさらにそれを上回るペースです。個別来校相談だけではなく、サマースクール・ウィンタースクール・保護者交流会も充実させ、学校園の訪問相談やアイ・あいスクールも広域で行っています。理解啓発活動として、各市町の担当指導主事・保健師・特別支援学校のコーディネーター・相談児生の担任等に対して、学校見学や交流会を実施しています。また、県下全域の主要な病院の眼科医・保健所・ハローワーク等にも出向き、学校案内や相談パンフレットを配布しています。

校内では、在籍幼児児童生徒全員を校内の全教職員で理解支援できるように、個別の教育支援計画・個別の指導計画・個別の移行支援計画の見直しや活用を図り、様々な取り組みを企画し実施しています。教職員の専門性を維持向上させるため、色々な分野の専門家をお呼びして、校内研修会や公開教育講演会を開催しています。

## 保健部

毎月、安全点検日を設定し学校施設の状態を点検しています。今後とも、幼児児童生徒が安全で快適な学校生活を送れるよう心掛けていきます。また、防災の面では、避難訓練を通して防災意識の向上に努めています。今年度は、地域との合同火災避難訓練も実施する予定です。一時避難所としての役割を、区役所や地域の方々と連携を図りながら果たしていけるよう準備をしております。健康管理については、養護教諭による日常の指導はもとより、臨床心理士によるカウンセリングを実施する等、相談体制を充実させているところです。食育に関しては、10月を給食月間とし、生徒保健委員会が中心となり、「V I V A ! A K B総選挙（A：愛する K：こन्दて B：ベスト）」と銘打ち、給食のベストメニューを決定する取り組みを行います。結果は、文化祭で掲示する予定ですので、楽しみにして下さい。また同時に、衛生や食事のマナーについて、皆で考える機会を持ちたいと考えています。

## 幼小学部

「幼児・児童全13名を幼小学部全職員でみていく」をモットーに、個別の指導計画の報告と反省を、各学期始めと終わりに中心課題検討会として話し合いを行っています。そこでは担任が中心になって話を進めますが、他の教職員も質疑応答や自分の意見を述べる等、活気ある協議が行われています。また、点字や歩行、日常生活動作等の導入をつかさどる学部であるため、そのノウハウを皆で共有するようにしています。

## 中学部

生徒の「生活力、学習力」を定着させたり向上させたりするために、日常的なコミュニケーションを大切にきています。そのコミュニケーションは、生徒と生徒、生徒と教師、教師と教師、家庭と教師が日常的にあるよう心がけてきています。個別の指導計画等もその手段のひとつとして扱い、やはり顔と顔を合わせる時間を大切にしています。まだまだ不十分な場面もありますので、さらに努力していきたいと考えています。

## 高等部（普通科・理療科）

1学期は、生徒一人一人としっかりコミュニケーションを取り、個別の指導計画や教育支援計画に基づいて生徒のニーズを理解し、熱心に授業に取り組むことを目標にしてきました。理療科では、神戸市盲学校との技術交流や職場実習、解剖実習、夏期補習等、普通科では、修学旅行、職場体験実習、夏期補習等の行事があり、両科とも成果をあげました。2学期に入ると、理療科では、国家試験合格を目指した補習授業の継続、普通科では、舞子高等学校との防災に関する共同学習や校外学習、補習授業を行う予定です。

## 寄宿舍

寄宿舍では、周辺地域との交流を大切に考えています。その交流として「夏まつり」を今年も実施し、昨年度からプログラムも増やして開催しました。また、地域の消防団との交流も年度初めに実施できたので、寄宿舍の変化を早い段階にお知らせすることができました。また、寄宿舍教員の研修の機会が増え、舎生の進路の理解等が深まりました。そして舎生の個別の指導計画検討会は、今年から各学部副学部長、更に学校担任の先生も参加で行い、指導の足並みをそろえていけるようになりました。環境整備も順調に進んでいます。2学期以降の後期は、これら始めたことを具体的に実行し、成長を進めたいと思っています。

